

## 「棚田には夢がある!」棚田の価値を知り活かし継承していくために必要なことを共有した3日間

# 第22回全国棚田(千枚田)サミット in 佐渡



7月14日~16日、佐渡島で「第22回全国棚田(千枚田)サミット」が開催されました。「棚田には夢がある」と銘打たれた今回のサミット。島外より五百名超、総勢七百名の参加者が棚田地域の課題や次世代へ継承について真剣に考え、意見を出し合いました。メイン会場となったアミューズメント佐渡には、次回開催の長崎県佐佐見町をはじめ様々な団体のブースが並び、サミット開催に花を添えていました。



開会式、佐渡総合高校生徒による事例発表に続いて、(株)日本総合研究所 主席研究員の藻谷浩介氏が「日本を変える里山チカラ」と題して講演。過疎高齢化などで危機的な里山暮らしの実情や発想の転換で活性化に結びつけた成功例などを紹介し、里山再生への提言を行いました。



その後、各会場に分かれての分科会、ミーティングを実施。そこで取りまとめた意見は閉会式で各座長より発表されました。各会から多く上がった課題は、棚田の価値の啓発活動や情報発信、地域資源掘り起しの重要性でした。特に若年層に向けての情報発信や教育現場などにアピールを行い、認知や関心を深める活動の必要性が求められていました。

今回のサミットの総括として、①棚田米の価値を消費者と共有し、積極的な交流活動の実施②食と農の原体験の機会を作り、棚田への共感・協働のスパイラルを生み出す③棚田のコミュニティを保つために誇りと楽しみを持つ地域資源の発掘④内外から担い手を集める仕組み作り⑤地域外からの「外貨」獲得の仕組みづくりや学校教育を通じた人材育成⑥棚田を「日常」「学び」「イベント交流」とし、地域特性に合わせて棚田の未来予想図の実現に取り組みの6つの提言を盛り込んだ共同宣言を作成。

今回のサミットは、就農者や棚田や農業に関心を持つ次世代の発掘、育成が重要です。そのため今回のサミットでは「U-30(アンダーサーティ)棚田サミット」という若者向けのミーティングを初めて実施しました。またサミットの運営母体である佐渡棚田協議会に棚田地域で活動する地域おこし協力隊を積極的に登用し、人材を育てることにチャレンジしました。

3日間にわたり行われたサミットは無事閉幕し、様々なプログラムを通して人材交流や課題の共有が進みましました。

NPO 法人棚田ネットワーク 代表 中島峰広氏の話

なかなかよいサミットでした。特にU-30サミットなど新しい取り組みがあったのがよかったです。

## 様々な角度で棚田の未来を話し合った分科会ミーティング次世代継承の第一歩「U-30(アンダーサーティ)棚田サミット」も大好評!



14日夕方に開催された分科会やミーティングでは、様々なことが話し合われました。

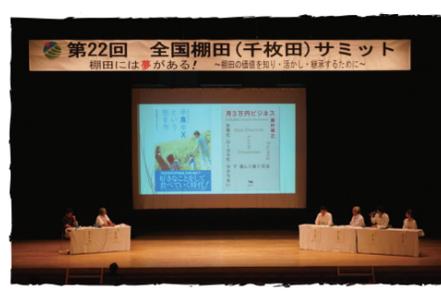
棚田と「米」「命」「温(ぬくもり)」をテーマにした3つの分科会は、それぞれ多彩なパネリストが登壇し、実体験に基づいたプレゼンテーションを行い、参加者と意見を交換しました。

棚田の現場にいる人たちが集った「棚田の守り人ミーティング」では、取り巻く課題や現在取り組んでいること、自身の考えなどを積極的に意見交換し、棚田の活性化について議論しました。

そして今回の注目企画である「U-30棚田サミット」は定員の30名をはるかに超えた参加者で会場は満杯。熱気に満ちた空気の中、就農を目指す人や棚田保全などの活動を行っているNPO団体など棚田や農業に関わる若者たちが、収入面、技術の習得、活性化策などそれぞれ抱えている悩みをぶつけ、各々が意見を出して話し合いました。

彼らが日ごろ向き合っている課題に対し、どうやって解決策を導いていくのか。それは棚田や農業の未来に大きな影響をもたらします。

彼らを支え、そして育てる仕組み作りを急ぐ必要がありそうです。



第1分科会はそのものズバリ「米」。生産者や流通、料理研究家など米のプロが意見を交わしました。



「棚田には命がある」と銘打たれた第2分科会。地域資源の活用や自然との共生について話し合いました。



第3分科会は「温」がテーマ。農家民宿の女将や農家に嫁いだ女性から棚田の魅力再発見につながる意見も。



棚田の守り人ミーティングは、ワークショップ形式で開催。各地域の棚田の現状や今後について共有しました。

## 佐渡での棚田サミットを終えて

7年前の十日町開催で、サミットを佐渡でも開催したいと要望したのが始まりです。それからGHASの登録などを経て、3年前の和歌山で開催が決まり、そこからは怒涛の日々。棚田協議会を中心に、手探りの準備を進め、なんとか無事に開催することができました。



今回の大テーマ「棚田には夢がある！」それには夢をつないでくれる次世代の育成が急務であり、若者たちにも積極的にサミットに参加して欲しいという願いから、U-30棚田サミットを行いました。棚田協議会にも関わる地域おこし協力隊が軸となって準備や運営を行い、結果多くの参加者から高い評価を得ることができました。

細かな反省点もありますが、まずは無事終了したことにホッとしています。最後に、佐渡市役所をはじめとする行政や関係団体の担当者、懇親会や現地視察などに協力いただいた店舗や集落住民の皆さん、応援し支えてくださった全ての方に心より感謝を申し上げます。



佐渡棚田協議会会長 大石 惣一郎 氏

初日の締めは全体交流会。山海の幸や郷土料理がテーブルに所狭しと並び、参加者は佐渡の味覚に舌鼓を打ちながら和やかな時間を過ごしていました。また地酒コーナーも人気で、蔵元に熱心に質問したり飲み比べをするなど終始にぎわっていました。



ました。ステージでは鬼太鼓や佐渡芸能が次々と披露され、交流会を大いに盛り上げました。

レポート

## サミットのお楽しみ♪ 全体交流会レポート



レポート

## 佐渡の棚田千枚田を巡る 現地視察



2日目は、実際に棚田に向き地域交流をはかるフィールドワークからスタート。天気予報では雨一色。しかし日頃の行いの成果か？ほとんど降られることもなく、無事視察を行うことができました。会場となった岩首、小倉、北片辺、丸山の会場には、実際に保全事業に関わっている集落の人たちが参加者をお出迎えしました。各会場工夫を凝らした説明やおもてなしは参加者にも好評でした。また稲田の美しい時期に開催したことで、佐渡棚田の魅力アピールにつながったのではないのでしょうか。

ジオス  
世界農業遺産(GIAHS)を知る

## 岩首棚田里山散策

世界農業遺産に象徴される岩首地区の棚田周辺を地元ガイドが、この地域に関する歴史や棚田の管理、作業などについてご案内します！

【詳細・お申込みはこちら】  
佐渡観光協会 (<http://www.visitsado.com>)  
エンジョイプラン「岩首」棚田里山散策



## 佐渡棚田協議会に参加しよう！

### 佐渡棚田サポーターになる！

佐渡棚田協議会では、佐渡の棚田の保全と一緒に考え、活動していく佐渡棚田サポーターを募集しています。佐渡の棚田保全にご興味のある方、一緒に保全活動をしていただける方など大歓迎です！！

【会員特典】  
棚田米 2kg をプレゼント、会報誌（年2回）やイベント案内のお届けのほか、佐渡棚田協議会が主催するイベントへ優先的にご参加いただけます。

【年会費】  
個人会員 3,000円  
家族会員 5,000円 / 法人会員 5,000円

### 佐渡棚田協議会会員になる！

佐渡は、中山間地域の棚田等の景観や伝統文化、農法が認められ、平成23年に「世界農業遺産（GIAHS：ジオス）」へ登録されました。このかけがえのない財産を次世代へ継承するため、翌平成24年に佐渡棚田協議会（通称「棚協」）が設立され、佐渡の棚田地域が気持ちを一つにしながらい生産活動を行い、棚田保全に努める取り組みが始まりました。

佐渡の棚田保全活動や発信活動、地域間の連携交流活動など、協議会会員として相互に協力し活動いただける個人・団体会員様を随時募集しております。

【年会費】  
団体会員 3,000円 / 個人会員 1,000円  
賛助会員 1口 1,000円

サポーター・協議会員に関する、お申込み・お問合わせは  
運営事務局へ（佐渡市農林水産課）  
TEL 0259-63-5117 / WEB サイト <http://sadotanada.com>

※年会費、会員特典等変更する場合があります。詳しくは事務局へご確認ください。

### 事務局便り

多くの皆様のご協力のおかげで全国棚田(千枚田)サミットも盛況のうちに終了いたしました。深く感謝を申し上げます。ホッとしたのもつかの間、まもなく稲刈りの季節を迎え慌しくなります。今年の棚田米の出来栄はいかに。サミットで採択した棚田の未来に向けて、まずは佐渡の棚田米のPRを積極的に行っていきます (K)

### 次号のお知らせ (予定)

次号は稲刈りや新米情報、棚田の秋・冬の様子をお届けする予定です。次号もお楽しみに！



### 棚田情報をSNSでチェック！



レポート

## 佐渡の子供たちも 大活躍！



サミットでは子供たちの活躍も目を引きました。羽茂高校郷土芸能部や金井小学校がサミットのオープニングを華やかに盛り上げ、佐渡総合高校の学生による堂々とした事例発表、また交流プログラムでは高千中学校生徒が伝統の文弥人形を披露し、拍手喝采でした。次世代につなげる夢がここにも息づいています。



岩崎貴大さんの  
コメント

任期中の3年間、佐渡棚田協議会の活動に関わらせて頂きました。任期終了間近の7月には、全国棚田(千枚田)サミット開催に追われ、最後まで協議会のみなさまと駆け抜けた3年間でした。また新しい場所から棚田を強力にサポートしていきたいと思えます！本当にありがとうございました。

佐渡棚田協議会の一員として活動を行ってきた岩崎さん。この7月で3年に及ぶ任期が終了し、地域おこし協力隊を卒業しました。岩崎さん本当にお疲れ様でした。

地域おこし協力隊任期終了！  
棚田班 岩崎貴大さん

## 佐渡の棚田米・オリジナル棚田グッズを販売しています！

平成27年産棚田米や佐渡オリジナル棚田Tシャツ&ポロシャツを通販サイトにて好評販売中です！なお、平成28年産棚田米は11月中旬頃より販売予定です。

◆お問い合わせはこちら TEL 0259-63-5117 (佐渡棚田協議会運営事務局) ◆通販サイトはこちら <http://shop.sadotanada.com>